北海道教育大学　へき地・小規模校教育研究センター（通称：へき研センター）
Hokkaido University of Education Research Institute for Remote and Small School Education（aka HUERISE）

令和５年１１月２４日発行　第１３５号

へきけんニュース

【ホームページ　https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/】
へき地教育に関するオンデマンド研修ビデオ・資料・フォーラム等のお知らせなどが豊富に掲載されています！
kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp
0154-44-3291　FAX 0154-44-3292

背景は北海道教育大学札幌校

令和5年度　札幌校へき地校体験実習報告会を開催

北海道教育大学へき地･小規模校教育研究センター
札幌校へき地教育アドバイザー　古田　統

1　はじめに ― 意欲的に行われた学生の報告

古田 統アドバイザー

10月27日（金）に今年度の「へき地校体験実習」の事後指導・実習報告会が北海道教育大学札幌駅前サテライト（札幌市中央区北５条西５丁目sapporo55ビル4F）で行われました。

今年５月から新型コロナウイルス感染症の位置づけは「５類感染症」に移行するも、実習開始時期に拡大の様相を見せていましたが、各校において延期や中止になることもなく、また参加学生の実習開始までの体調管理や感染対策、実習中の体調不良による中断等もなく、計画した13校30名の学生が全員無事に実習に臨み終了することができました。改めて受入校や各教育委員会のご支援はもとより、関係各位のご理解とご協力に感謝申し上げます。

実習報告会は今年度もZOOMを併用し、多くの実習受入校のご参加をいただくとともに、コメントも寄せていただき学生にとって大きな励みとなったようです。

2　今年度の実習校と発表の概要 ― 実践的な力量の向上に向けて

尾関 俊浩キャンパス長

今年度のへき地校体験実習は次ページの表の通りで、豊富町立兜沼小中学校、猿払村立知来別小学校は今年度からの受入れ、また礼文町立礼文小学校は再受入れでした。

当日は初めに玉井康之センター長よりご挨拶があり、へき地校体験実習の意義と期待についてお話をいただきました。

その後、実習校ごとに学生がパワーポイントを使用して実習の様子や感想、考察等を発表しました。このような実習の成果・課題を共有、交流する中でへき地・小規模校教育の現状理解と実践的な力量をさらに高めることのできた大変有意義な時間となりました。

全ての発表の後、尾関俊浩札幌校キャンパス長、川前あゆみ副センター長（ZOOMにて参加）、前田賢次先生より講評をいただき、最後に尾関キャンパス長から実習生一人一人に「へき地教育プログラム修了証」が手渡されました。

▼令和5年度へき地校体験実習 協力校・実習期間

実習協力校名	実習生数 2年	実習生数 4年	実習期間(移動日を含む)
利尻富士町立鴛泊小学校	2		8月20日(日)～8月26日(土)
礼文町立礼文小学校	2		8月27日(日)～9月2日(土)
猿払村立浅茅野小学校	2		9月3日(日)～9月9日(土)
猿払村立知来別小学校	2	1	9月3日(日)～9月9日(土)
豊富町立兜沼小中学校	2		9月3日(日)～9月9日(土)
初山別村立初山別小学校	2	1	9月3日(日)～9月9日(土)
三笠市立岡山小学校	2		8月27日(日)～9月2日(土)
三笠市立萱野中学校	2		8月27日(日)～9月2日(土)
伊達市立大滝徳舜瞥学校	2	1	10月15日(日)～10月21日(土)
蘭越町立昆布小学校	1	1	9月24日(日)～9月30日(土)
積丹町立美国小学校	1	2	9月24日(日)～9月30日(土)
黒松内町立白井川小学校	1	1	9月4日(月)～9月9日(土)
今金町立種川小学校	1	1	8月21日(月)～8月25日(金)
計13校	30名		

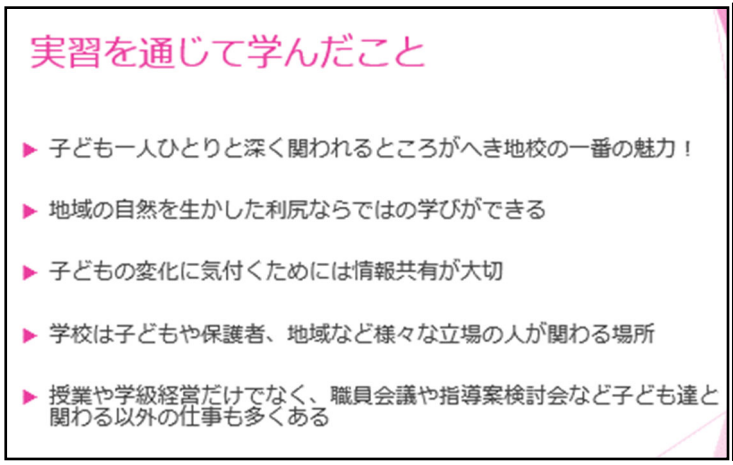
▲前田賢次先生 講評

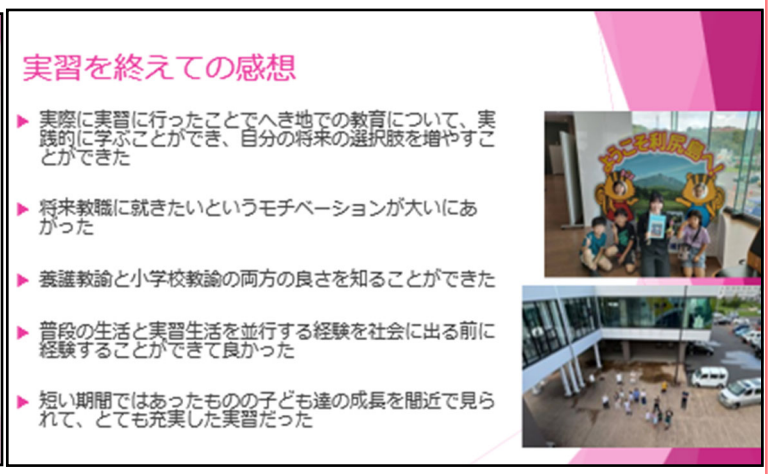
玉井 康之センター長

3 各校の発表より ― へき地校の教職員もオンラインで参加

(1)利尻富士町立鴛泊小学校

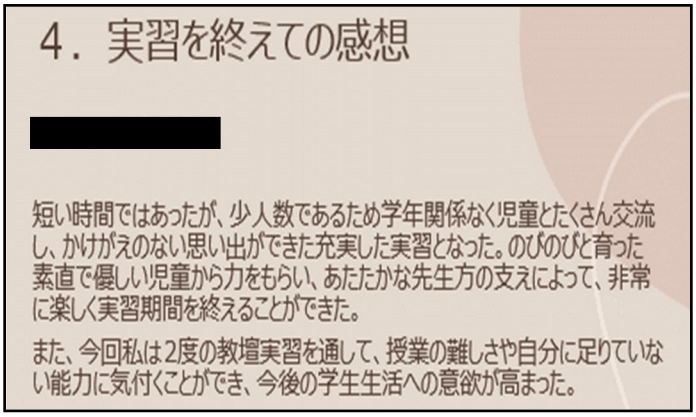
地域素材（ウニの養殖）を活用した総合的な学習の時間、身体測定（養護教諭）などの教育活動に携わることができ大変中身の濃い実習となったこと、また地域の方々からの夕食の差し入れや職員との夕食会（送別会）もあって、温かさに触れられたことなどが報告されていました。（最終日に教壇実習が予定され準備も進めていましたが、暴風雨のため臨時休校となり実施できず残念でした。）





(2)蘭越町立昆布小学校

２年生１名、４年生１名が実習を行いました。実習生は２時間ずつ教壇実習（社会科と算数科の複式授業）の機会を持つことができ、きめ細やかな指導の視点や複式授業の難しさを理解することができたこと、また校内マラソン大会などの学校行事も通して子ども理解が深まった１週間となったことなどが報告されました。

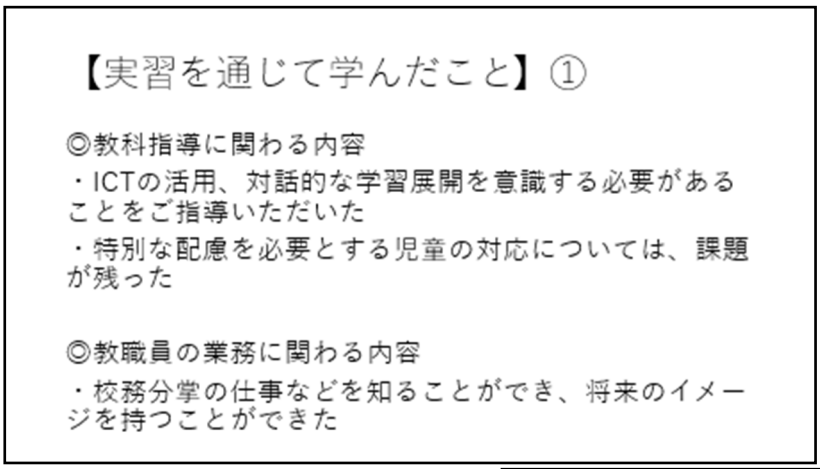


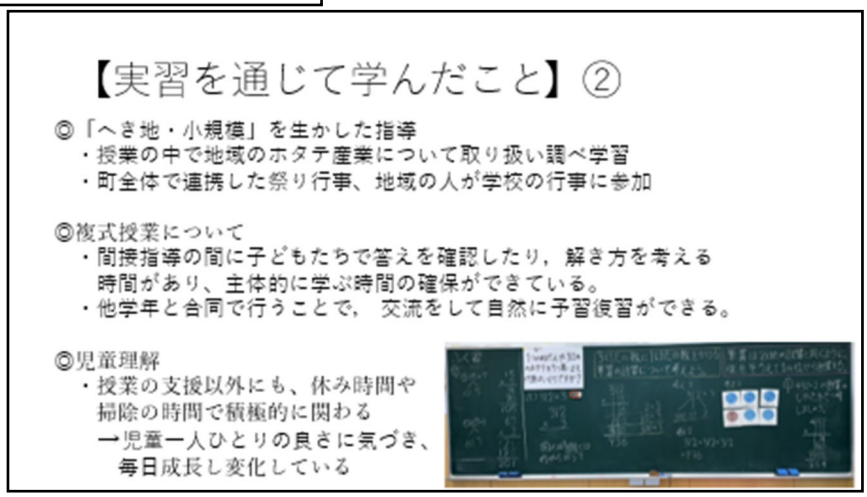
(3)三笠市立萱野中学校

実習先としては数少ない中学校でした。小規模校だからこそできることの多さ、生徒との何気ない会話の中にも生徒が発しているサインがあることを実感したなどの報告がありました。岡山小の２名とともに、今年度も地域在住の坂梨様に１週間の食事、住居のお世話をいただきました。（学校祭準備期間中だったこともあり、後日開催された学校祭、学芸会の折に再訪したようです。）

(4)猿払村立知来別小学校

「ICTを活用した機器の導入、少人数学級における授業の展開について指導いただきながら実際に指導案を作成し、様々な状況に対応した授業作りのノウハウを知ることができた。」「教職員の方々や地域の人々にとても親切にしていただき、人と人とのつながりの大切さ、あたたかさを身をもって実感することができた。」との報告がありました。

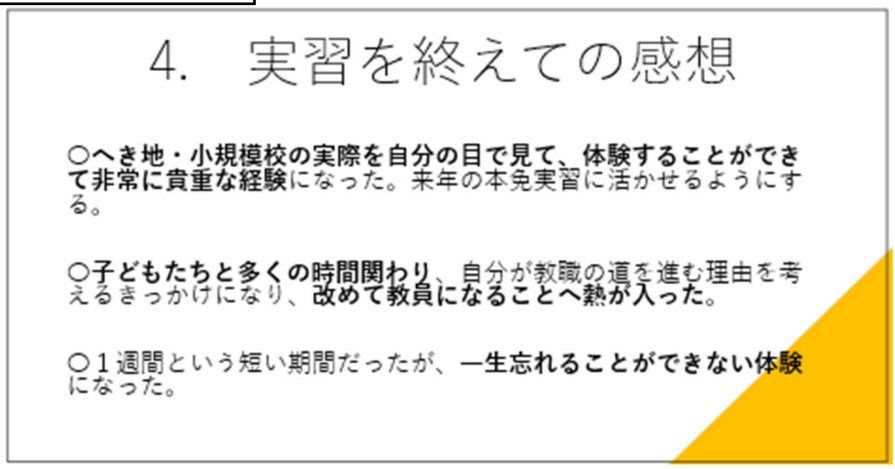




(5)豊富町立兜沼小中学校

小中併置校での実習を通し、異学年交流の重要性（リーダーシップ、上下関係の構築）やチーム学校としての機能が子どもを支えていることがわかったなどが報告されました。

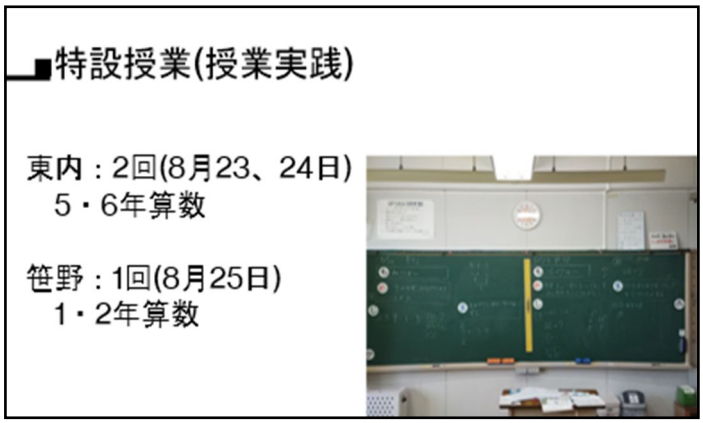
算数科および英語科の教壇実習も実施することができ、教職への思いが深まったという感想も印象的でした。



(6)今金町立種川小学校

充実した学校設備（プール、簡易リフト付きスキー場、菜園・温室、各教室エアコン）、地域と一体となった活動（ふるさと先生・水泳記録会・敬老会）といった小規模校ならではの教育環境が印象的だったようです。

猛暑が続いた中での実習でしたが、幸いクーラーが完備された学校だったので快適だったとのことでした。



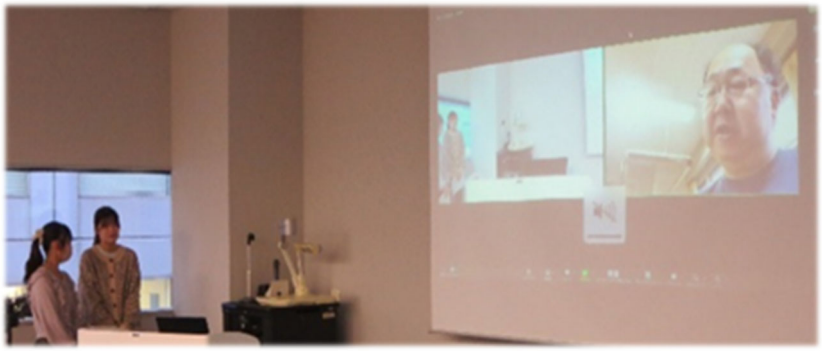
４ 全体を通して

○全員から「実習に参加して本当に（心から）良かった。」「自分の経験値が日に日に上がる実感」「忘れられない１週間」といった声があがっていました。

○地域での生活も「地域と一体になった教育活動」「地域の人の温かいもてなし（声かけ）」など、その地域に住む（滞在する）ことの意義を感じたとの発言もありました。

○最終日の離任式で号泣してしまった学生が多く、短い期間ながら有意義で濃密な時間を過ごしたことも伝わってきました。学芸会の準備・練習期間と被った学校もあったようで、４校延べ11名の学生が後日の学芸会当日に再訪しているのも印象的でした。

５ おわりに



ZOOMで参加いただいた実習校の指導教諭から報告会を参観しての感想や、学生に対して励ましの言葉をいただき、実習後も温かな気持ちを抱いてくださっていることに改めて深く感謝する次第です。

ここ数年、コロナ禍で実習希望者の数が停滞していた面もありましたが、今年度札幌校での「へき地教育論」の履修登録者が前後期併せて150名ほどになりました。すでに「来年、実習に行きたいです！」と語る学生も多くいます。参加した先輩にも、後輩に実習の素晴らしさをぜひ伝えてもらい、へき地校体験実習に応募する学生が来年はさらに増えることを期待するところです。

▲尾関俊浩キャンパス長より修了証授与

結びに、学生の学びの場を提供してくださった全ての皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和5年10月8日(日)開催の令和5年度日本教育大学協会研究集会にて へき地・小規模校教育分科会では、鹿児島大学・長崎大学・信州大学など、多くの大学の実践が発表されました！

【第４分科会】

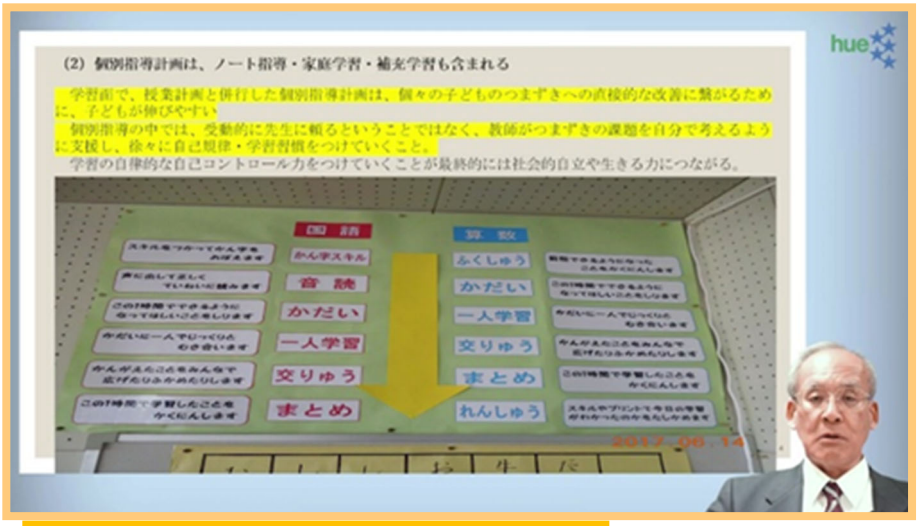
へき地・小規模校教育

【司会】　坂本　明美（山形大学地域教育文化学部　准教授）
　　林　　敏幸（山形大学附属小学校　校長）

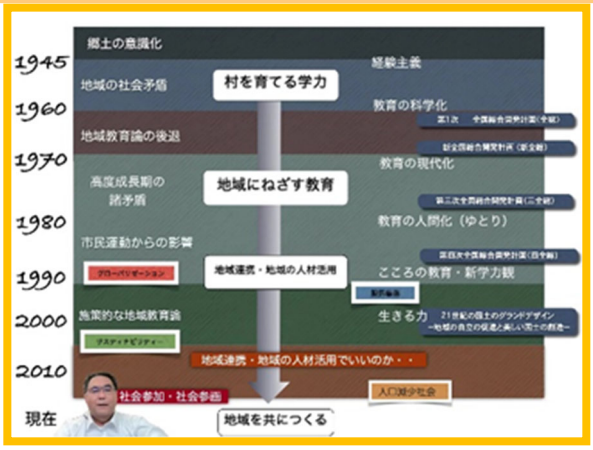
時 間	発表番号	発 表 題 目	発 表 者	所　属
13:00~13:20	401	鹿児島大学教職大学院が取り組む離島へき地小規模校教育の実践と課題	○有倉　巳幸 内ノ倉真吾 廣瀬　真琴 岩本　伸一 小屋敷浩昭 宮﨑　幸樹 髙瀬　和也	鹿児島大学教職大学院　教授・教育学部長 鹿児島大学　准教授 鹿児島大学教職大学院　准教授 鹿児島大学教職大学院　教授 鹿児島大学教職大学院　教授 鹿児島大学教職大学院　准教授 鹿児島大学教職大学院　助教
13:20~13:40	402	長崎大学における少人数教育に強い教員養成に向けた取組み	○藤本　　登 鎌田英一郎	長崎大学教育学部　学部長・教授 長崎大学教育学部　准教授
13:40~14:00	403	全国へき地教育研究連盟・大学・地元教育委員会が連携した へき地・小規模校における現職教員の学習支援	○柿崎　秀顕 荒川　浩一 伊端　俊紀 古田　　統	北海道教育大学札幌校 へき地教育アドバイザー 北海道教育大学釧路校 へき地教育アドバイザー 北海道教育大学旭川校 へき地教育アドバイザー 北海道教育大学札幌校 へき地教育アドバイザー
14:00~14:20	404	北海道教育大学・長崎大学・鹿児島大学・琉球大学の連携による「へき地教育プログラム」の開発とへき地校に対応した教員養成モデルの構築	○玉井　康之 藤本　　登 有倉　巳幸 萩野　敦子 蛇穴　治夫	北海道教育大学　副学長 長崎大学　　教育学部長 鹿児島大学　教育学部長 琉球大学　　教育学部長 北海道教育大学　学長
14:20~15:20	（休　憩）			
15:20~15:40	405	中山間小規模校出身学生を対象とした学習経験の意識調査と一考察	○松本奈菜三 森下　　孟	信州大学教育学部　学部生 信州大学　准教授
15:40~16:00	406	へき地・小規模校における遠隔合同授業の可能性	○川前あゆみ 前田　賢次 佐藤　正範	北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター　副センター長 北海道教育大学札幌校　准教授 北海道教育大学未来の学び協創研究センター　特任講師
16:00~16:20	407	隣接小規模校が地域ぐるみで支える子どもたちの「情報活用」 ～八雲町における学びの基盤整備を例にして～	○山口　好和 小田桐　智 遠藤　優季 中村　拓也	北海道教育大学函館校　准教授 八雲町立東野小学校　校長 八雲町立山越小学校　教諭 （株）函館ラボラトリ　マネージャー
16:20~16:40	408	へき地・小規模校の教育実践を支援する大学教員に求められること	○伏木　久始 ○大畑　健二	信州大学教職大学院　教授 信州大学教職大学院　准教授

現職教員を対象としたオンデマンド型の映像資料を公開しています

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター



へき地・小規模校教育研究センターが取り組む「学校規模縮小化に対応した教員養成と教員研修を推進する教育拠点整備事業」の一環として、現職教員を対象とした「少人数指導等の先進研究を生かした現職教員研修の全国展開」をテーマにオンデマンド型の映像資料を作成し、公開しております。



「校内研修討論の素材として共通に視聴する」
「市町村研究会・研修会の研修教材として視聴する」
「教育団体・サークル等で視聴する」etc.…

このように様々な場面でご活用いただき、へき地・小規模校教育を担いその可能性を広げる皆様に、お役立ていただければ幸いです。

令和５年１月から映像資料の公開を開始し、令和５年11月時点で26本の映像資料を公開しています。今回は公開中の映像資料の一部をご紹介します。

タイトル	内容
へき地・小規模校における個別指導と一斉指導の調和の考え方	へき地・小規模校における個別指導と一斉指導を調和する考え方をとらえます。個別指導は、大人数授業では限界もありますが、へき地・小規模校では、個別指導を全体計画の中に積極的に採り入れることができます。その際に、教師と子どもだけの個人指導にならないように、自律的な学びや協働的な支援を採り入れながら、個別最適な学びを発展させる考え方と方法をとらえます。 （制作　玉井康之　へき地・小規模校教育研究センター長）
中学校の免許外教科担任をサポートする遠隔教育特例校制度～北海道幌延町の遠隔授業の取組	2019（令和元）年８月に学校教育法施行規則が改正されて、「遠隔教育特例校制度」が導入されました。北海道の市町村で唯一、本制度を実施している幌延町の実践を紹介し、本制度の理解を深めることを目指した動画です。 （制作　赤間幸人　へき地・小規模校教育研究センター員）

へき地複式・小規模校における教師のための地域を学ぶ教育内容研究と教材開発	ふるさと学習などで、地域の特産物について調べることから、特産物の生態や生育、生産・加工など様々な視点に広げるための手法について解説しました。 教師の教育内容研究と、それを踏まえた学習活動の一例としてとらえることもできると思います。 （制作　前田賢次　へき地・小規模校教育研究センター員）
へき地における開発的な教育実践 総合的な学習としてのSTEAM教育―試行錯誤を伴う木琴づくりの実践例―	STEAM教育とは、Science・Technology・Engineering・Art・Mathematics（科学、技術、エンジニアリング、芸術、算数・数学）を統合的・横断的に扱うことを志向した教育の考え方です。 試行錯誤を通して、へき地をはじめとする地域において重要である創造性も養えます。ここでは、地域性を生かしながら（関連動画：総合的なふるさと教育 「木育」と「STEAM教育」の組合せによるふるさと教育の実践例）、音や音楽を題材として私どもが開発した「木琴」づくりの活動について紹介しています。 （制作　芳賀　均　へき地・小規模校教育研究センター員、 森　健一郎　へき地・小規模校教育研究センター員）

今後も随時映像資料を公開予定です。ぜひご覧ください。

映像資料を組織的に活用した場合には、へき地・小規模校教育研究センターホームページ内の専用フォームより、活用実績等をご一報をいただければ幸いです。

映像資料は、こちらのQRコードから閲覧いただけます。
（へき地・小規模校教育研究センターHP「動画配信」）

URL　https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/public/movie.html

読者の皆様からの掲載記事を募集しています

へき地・小規模校教育に関するトピックや行事案内など、
へきけんニュースへの掲載希望がありましたら、原稿や画像をお送りください。

送付･お問い合わせ先	へき地・小規模校教育研究センター事務局 ☎ 011-778-0942 ✉ crc@j.hokkyodai.ac.jp